

2018年4月27日

東神電気株式会社

東神電気と大阪府立大学／植物工場研究センターが共同研究を開始

東神電気株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：寺岡龍彦、以下 東神電気）は、大阪府立大学／植物工場研究センターと LED 光源下における植物の生育に関する共同研究を開始した事を発表しました。この共同研究に向けて大阪府立大学の植物工場に東神電気の植物栽培用 LED 光源「tecoled G II (テコレッド・ジー・ツー)」が 108 本導入されています。

東神電気の「tecoled G II」は 400nm~800nm の全波長を含む白色光の LED 光源です。波長域が広く、高い PPF D により、多品種の植物で栽培時間の短縮が実現され、生産効率が向上します*。また、本体にケーブルが付いている事から施工が容易であり、さらに IP66 の防塵防水性能を有しています。

今回、東神電気の「tecoled G II」が導入されたのは大阪府立大学／植物工場研究センター C22 棟です。この建物は 2014 年に経済産業省「イノベーション拠点立地推進事業」によって日産 5,000 株の量産型実証モデルとして建設されました。

共同研究は C22 棟の LED 光源の更新検討を目的に 2019 年 1 月 31 日まで実施される予定です。

※東神電気株式会社調べ

製品仕様

品名	発光色	入力電圧	消費電力	光合成有効 光量子束密度 PPFD	防塵防水
tecoled G II 23W タイプ (標準品)	白色 5000K	AC200V	23W	115 μ mol/m ² /s/本	IP66
tecoled G II 28W タイプ (受注生産品)	白色 5000K	AC200V	28W	130 μ mol/m ² /s/本	IP66

